

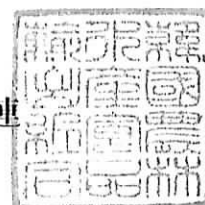
韓国農林食品輸出入組合

Korea Agriculture Food Trade Association

Room. 1106, Korea aTCenter
232 Yangjae-Dong, Seocho-Ku,
SEOUL, 137-787, KOREA

TEL : 82-2-6300-8200/4
FAX : 82-2-6300-8205
DATE : September. 28. 2007

TO : 日本 加工栗 輸入業者協議会 会長 梶川正智
FROM : 韓国 農林食品 輸出入組合 林産分課委員長 具滋連



題 目 : 韓国の栗の安全性調査 及び 検査 結果書の通報

1. 貴 協議会の無限な発展を祈願致します。
2. うちの組合は '07年度 韓国産栗に対して韓国の主要14個輸出団地の栽培履歴を調査した結果、日本で使用が禁止された農薬は使わないのを確認し、その結果を別紙の通りお知らせ致します。(原本は郵便で送付)
3. 「栗」 残留農薬のポジティブリスト制関連の栗市場からの要請事項である、栗の写真 [①産地 (3箇所以上),②開花状態,③栗園 (畑) の立地.周辺の状況 及び 周辺作物など、④農薬散布状況 : 病虫害駆除の空中散布状況、自助散布状況、⑤収穫状況] は e-mail(mkt.kob61@wing.ocn.ne.jp)でお送り致します。

別紙 : 栗の栽培履歴書

以上。

韓国産栗の栽培履歴書

2007年度 韓国産栗の栽培履歴書を別紙の通り提出します。

- 下 記 -

1. 対象品目：対 日本の輸出用 剥き栗及び渋皮栗
2. 調査地域：主要の輸出団地 14個所の地域
 - 忠南：公州、夫餘
 - 全南：光陽、求禮、昇州、順天
 - 慶南：河東、晉州、山淸、固城、咸陽、砂川、居昌、陝川
3. 調査期間：'07年 7月 2日 ~ 8月 31日
4. 調査要領：各の産地別に 5~10農家の標準農家を選定して調査
5. 栽培履歴：別紙
6. 調査機関：韓国農林食品 輸出入組合 及び 栗の輸出業体

2007年 9月 28日

韓国農林食品輸出入組

理事長 曹芳煥



ソウル市 瑞草區 良才洞 232番地 農業貿易センター 1106号

TEL：82-(0)2-6300-8200/4 FAX：6300-8205

韓国の栗の栽培履歴書

1. 栽培環境

栗木は主に野山と山裾に栽培しているから、周辺に汚染物はない。

2. 間伐、整枝・剪定

- 12月～翌年 2月の間に実施する。

3. 除草作業

(1) 草刈り：除草機を利用して草刈りを行い、年2回～3回 実施する。

－ 主に6月中旬、7月末、8月中旬頃に実施している。

(2) 除草剤 散布

実行時期	回数	成分名	防除法	備考
7月末	1回	Gulfosinate	水 20ℓ 当り 60ml	噴霧器を利用して散布
		Glyphosate	水 20ℓ 当り 14ml	

グリホサート

グリホサート

(3) 被服栽培：一般的には大衆化されていないが、一部の農家では 藁、あらぬか、草、P.Pなどを使い、除草作業に当たっている。

4. 肥料施し(施肥)

(1) 施肥時期：年 2～3回 実施する。

- 元肥(春肥)：2月 中旬～3月 下旬頃(土壌の解氷時期)に実施。
- 夏肥(実肥)：7月 上旬(10日頃)に実施。
- 秋肥(礼肥)：栗の収穫後、11月頃に実施。

(2) 肥料の種類

- 科学肥料と有機質肥料を並行使用している。

